

特集 5

MASLD/MASHの治療 —薬物療法の現状と展望—

なかじま あつし

中島 淳

国際医療福祉大学熱海病院 病院長／
横浜市立大学医学部
肝胆膵消化器病学教室 名誉教授

よねだ まさと

米田 正人

横浜市立大学医学部
肝胆膵消化器病学教室 准教授

すみだ よしお

角田 圭雄

国際医療福祉大学大学院
医療福祉経営専攻
医療経営管理分野 教授

要旨

MASLD/MASHに保険適用のある治療薬はなく、現状の治療は糖尿病や脂質異常症、さらには肥満症などのMASLD/MASHの併存疾患に応じた治療選択が推奨されている。一方、世界的に多くの新薬開発も行われ、米国で世界初のMASH治療薬として承認を取得したresmetiromが登場した。最近、第III相試験を終了したGLP-1受容体作動薬であるセマグルチドが主要評価項目を満たしたため、近々承認されることが国内外で期待されている。

キーワード

MASLD, MASH, resmetirom, GLP-1, セマグルチド, *PNPLA3*

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

最新
トピックス

THE
FOCUS

徒然なる
ままに。